

普通じゃないめっき会社を目指します。

『フジコーアルマイト図書館～アルマイト(陽極酸化)のあゆみ』

「アルマイト」の名でも知られるアルミニウムの陽極酸化皮膜は、日本が誇る世界的な技術です。アルミニウムは活性な金属であり、大気中では酸素と結合して、自然に表面を薄い酸化アルミニウムの皮膜で覆います。この酸化アルミニウムは、それ以上変化しないという性質を持っているので、内側のアルミニウムを保護する役目を持つため、腐食防止にもなります。

自然に生成する酸化皮膜は非常に薄いものですが、人工的に厚くて強固な酸化皮膜をつくる電気化学的表面処理が、陽極酸化皮膜処理です。実際には電解液(硫酸、シュウ酸、その他の有機酸)の中にアルミニウム製品を入れ、これを陽極として弱い直流、交流、交直流の電流を流すと、表面に酸化皮膜が形成されます。酸化皮膜の表面には、たくさんの小さな穴(直径0.01~0.05 μm 、60~800個/ μ)が空いています。穴の表層部に水酸化アルミニウムを形成させて穴を密閉し表面を滑らかにします。この処理を封孔処理といい、この時、染料を穴に染み込ませて着色する事も出来ます。

一般アルマイト

一般的な処理で皮膜の膜厚は5~15 μ 程度です。アルミ本来の色合いとなり、合金の種類によって若干の発色(灰色)がある場合があります。耐食性に優れ、傷が入りにくくアルミ材に対してもっとも多用される表面処理です。

硬質アルマイト

当社のアルマイトは硬さHv400以上であり、皮膜の膜厚は20~50 μ 程度です。合金中の成分の違いによって発色が変わります。近年、その耐摩耗性の高さからシャフト類・ロール等へ使用されることが多くなっています。

潤滑アルマイト

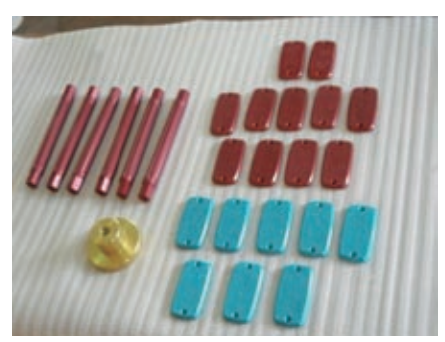
硬質アルマイト皮膜に特殊フッ素樹脂を含浸させることにより潤滑皮膜を形成します。皮膜は硬質アルマイトと同様です。

染色アルマイト

染色アルマイトは、生成法と性質は一般アルマイトと同等ですが、表面の細孔に有機染料を吸着させ色を着けたアルマイトです。(黒色・赤色・青色・黄色 他)

艶消しアルマイト

艶消しアルマイトは文字通りアルミ表面を艶消し処理(梨地)してからアルマイト処理したものです。



アルミニウムと健康

アルミニウムは自然界には何処にでも存在します。

我々が口にする食品にも、微量ながらアルミやその他の金属が含有しています。それらの金属も私たちの健康を維持していくには必要不可欠な物質です。例えば“鉄”が不足すると貧血になってしまいますし、“亜鉛”だって不足すると味覚障害になります。これらの金属は摂取しても、便や尿によって体外へ排出されますので、大量に口にしない限り害にはなりません。一時期、アルミがアルツハイマー病の原因ではないかと言われてきましたが、これといった原因の解明には至っていません。

腎不全患者には一時、アルミニウム脳症の原因にアルミが関係すると言われてきました。

これは腎不全患者が常用する薬にアルミが主成分となるものがあり、それが脳に蓄積すると言われていましたが、今ではその薬は使用されていません。

どんなに良い物でも、大量に摂取すれば体には負担になります。

食事は何でも適度に美味しくいただきましょう。



身近なアルミ第一弾「一円玉」

発行されたのが昭和30年、1955年なので55年前のことです。

あのデザインは一般公募から決まり、表と裏は別々の人のデザインだそうです。一円硬貨を製造するのにかかるコストは1円以上で、造れば造るほど赤字となっているという話は有名で、原料となるアルミニウムの原価だけで1枚あたり0.7円程度かかっており、そこから1円玉として出来上がるまでに1枚あたり1.6円～1.8円程度のコストがかかっているとされています。 恐るべし一円玉！！

ちょっとひと息～アルミはアルミ～



たまに「この製品の材質は何でしょうか？」と問い合わせると間髪入れずに「アルミです」と言われることがある。確かに“アルミ”には違わないけど・・・ご存知の通りアルミにもいろいろな材質ごとに分別されている。純アルミ材のA1000番系からA7000番系(JIS規格)・鋳物(AC)・ダイカスト(ADC)に分類される。

フジコーアルマイト処理有効寸法

	全長	幅	深さ	
自動機	1650	500	1100	
手動機	2800	200	300	(単位：mm)

Customer Interview ～お客様インタビュー～

今回は赤穂市の株式会社原鐵工所様にインタビューさせていただきました



昭和10年の創立でもととは焼玉エンジン(ポンポン船)の修理から始まった。そして戦後、ユニチカ(株)、アース製薬(株)、赤穂ロープ(株)の協力工場となり、昭和30年代後半からは大手重工業の協力工場として造船景気と共に一気に生産実績を上げていった。現在に於いては船舶部門の他にも公害設備等の設計・製作・据付の一貫工事など、メーカーの中核として躍進を続けている。

「フジコーさんとの付き合いは、もう40年以上になります。昔、まだ先代の社長がおられた頃は、今の藤井社長と2人でよく顔を出して頂きましたよ。藤井社長のご自宅は上郡町ですし、うちは赤穂市坂越なので、地元という事もあり親切にして頂いたのを憶えています。」

『原社長のもう一つの顔』

生まれ育った坂越という情緒溢れる町を愛して止まない原社長が特に情熱を注いでおられるのが、毎年8月上旬に開催される「坂越タコ祭り」である。

タコ祭りについて原社長にお尋ねすると・・・その昔、坂越の港は赤穂の玄関口であり、赤穂の塩等は全国へ船で坂越から出荷されていた。もちろん港は栄え、漁においても現在では牡蠣が有名だが、当時はタコが非常によく採れたとの事。原社長曰く「タコは明石だけじゃないんですよ・・・。」そのタコ祭りが今年で20回目を迎える。

このタコ祭り用グッズは今回20回目を迎えるに当たって、原社長が発案から製作まで目配りしております。なかでも12年前に原社長が発案から製作までされた『直径20cmのジャンボタコ焼機』はテレビ局が取材に来る程のシロモノ。



原 清社長

そして今回は大小様々なタコ型キーホルダー・ストラップなどで、その加工工程の中に弊社での鏡面バフ研磨、弊社協力会社様による装飾めっきを取り入れて頂く事になったのです。

昨年9月に原社長からタコ型キーホルダーの表面処理についてご依頼を頂戴し、何度も打ち合わせをさせて頂き、現在もグッズの種類は増え続けています。

今回、原社長が製作されたタコグッズについては赤穂民法から始まり、神戸新聞、日刊工業新聞や雑誌等、多数の取材があったそうで、既に地元神社や旅館などの各施設でも販売されています。

無限大の「ご多幸」をお祈りする幸せの
たこちゃんキーホルダー



〈インタビューを終えて〉

インタビュー当日、原社長は新品の作業着に着替えられ、会社の事、地元坂越の事を実に丁寧に話して下さいました。事務を担当されている奥様も同席して頂き、非常に和やかなひとときでした。

原鐵工所様のある場所というのは、ちょうど坂越湾の鼻先に位置し、国指定天然記念物の生島樹林を見下ろす、大変風光明媚な場所です。

場所も然る事ながら、何時お伺いしても大変アットホームな雰囲気です。担当として嫌な気持ちになる筈がありません。

実は先日、タコグッズの雑誌取材で俳優の清水章吾さんが来られたとの事。

普段は非常に無口な方だそうですが、この日は大変饒舌で、一緒に来られたカメラマンの方々もびっくりされたそうです。

このお話からも原社長の人柄をはじめ、社長をフォローされる奥様、しっかり者の専務、そして会社を取り巻く環境など本当にいい会社だなあとつくづく思っていました。

(Interviewer 営業:外注部 竹澤 実)

フジコー Fujiko-History ~フジコー誕生から未来へはばたく~

VIII ~夢~

(前回までのあらすじは「めっきはフジコー」HPまで)

めっきはフジコー 検索

2003年の事故発生以降、徹底的にリスクマネジメントに励むようになり、2005年4月本社事務所完成とともにISO9001品質マネジメントシステムの認証も取得した。さらに2006年4月にはISO14001環境マネジメントシステムの認証も取得し、環境への配慮も強力に進めている。

社長の夢は何ですか？



「乾式の表面処理をやってみたい。まだまだやりたいこと、追いかけてみたい技術はたくさんある。」
 というフジコー社長、

汚い・キツイ・危険を払拭し、きれい・勤勉・高給な職場づくりに励み、人が来やすい環境、勤めやすい環境、働きやすい環境を大前提に、人材が集まりお客さんのニーズにあった製品を製造し続け、技術を継承・改革してもらいたい。
 めっき屋さんらしくないめっき屋さんを目指します。

フジコーフットボールクラブ奮闘記

姫路市サッカー協会に加入して初めてのシーズンが終わりました。藤井常務が監督として指揮を執り、初年度の結果としては満足しています。
 フジコーフットボールクラブにはサッカー経験者が少なく、それでも勝利出来た事は最高の収穫です。チーム内選手の学生時代の運動経験は様々です。野球部や陸上部、バスケットボール部、ソフトボール部やバレーボール部。そんなチームの中、チーム内得点王に輝いたのは、ダントツで佐々木製造部長(元バレーボール部)でした。サッカー経験者も認める活躍で、文句無くチーム内のMVPです。来年度はさらに良い結果を出せるでしょう。
 ただ、残念なのはチームの人数が少し減った事、そして、約一名が全治3ヶ月の大怪我を負った事。怪我をすればチームはもちろん、会社にも多大な迷惑を掛けてしまいます。本年度は、負けてもいい、ただ怪我だけは無いように程よく手(足)を抜いて頑張りましょう。



皆さん、いかがお過ごしですか？
 日に日に暖かくなってきましたね。
 さて、今年も我等がフジコーに新入社員が入社してきました。これからフジコーの一員となり、社会人としての第一歩を踏み出しました。
 そんな彼等にこんな『ことば』を贈りたいと思います。
常に頭脳を酷使せよ！
 通常凡人は5%しか頭脳を使っていない。
 己れの頭脳は己れの訓練によつて無限に開拓される。
今日の事は今日やっておけ！
 明日はまた明日の仕事がある。一日を粗末にする者は、一日を粗末に過ごし、一生を粗末に終わる。自己の意思に鞭を打てよ。
生きがいのある職場で価値ある人生の創造を！
 人々に豊かな価値観や幸せを創出する事を理解し、人生の目標を見い出せ！

発行人: 藤井茂樹
 発行元: フジコー株式会社
 〒670-0947 姫路市北条1080-2
 ご意見・お問い合わせはこちらまで。
 TEL 079-288-3800 FAX 079-288-3830
 E-mail main@fujikomei.net
 作成: 平成22年4月 第11号